

図書館だより No.1

2026.4.23 松阪高校図書館

「未来の自分」を育てる種をまこう。



図書館からのお知らせ「図書館だより」をお届けします。

学校図書館は「読書センター」であり「学習・情報センター」でもあります。読んでみたい、知りたい、調べてみたいetc. 図書館を上手に利用し、「未来の自分」のための学びに役立ててください。

「図書館だより」は、Google Classroomでの配信と松阪高校ホームページに掲載します。図書館入口とブックポスト（2階職員室前）の上に配布版（紙）を置きますので、必要な方はご利用ください。

図書館オリエンテーション ▶ 図書館の利用の仕方

今年度も新入生には4月9日（木）、新転任の先生には4月3日（金）に、利用案内をもとに図書館オリエンテーションを行いました。

図書館の利用者は、松阪高校の生徒（全日制・通信制）と教職員です。どなたも、図書館や図書館資料の使い方わからないことがあれば、図書館カウンターへお立ち寄りください。

‘図書館’を知ろう…その1「本を借りる・返す」

開館時は常時 貸出・返却を受け付けています。借りたい本、返し
たい本を持って、図書館カウンターに来てください。

- * 松高生（全日制）は入学時に図書館利用者として登録しています。
- カウンターでクラスと名前を伝えてください。（貸出カードを持っている方は、カードも出していただくと手続きが早いです。ご自身のカードのみ有効）
- ※返却のみの場合、図書館前と2階のBOOK POSTもご利用ください。
- ◎保護者の方は松高生の皆さんを通じて本を借りていただけます。

図書館委員会2026 start !

4月15日（水）に第1回図書館委員会を開催し、今年度の委員会をstartしました。20日ころからカウンター当番を始めていきますが、委員の仕事を覚えるまで手間取ることもあります。本を借りる、返すなどカウンターでの手続きは時間の余裕をもって来館ください。

松阪高校図書館
利用時間 午前8時25分～午後4時50分
(休館日：土曜日・日曜日・学校休業日)

松高ホームページ
* 図書館のページ



* 松高図書館に入ってきた本 * 2026.3.16 ~ 4.20 受入分 *

※タイトルの前の記号 … ☆リクエスト、レファレンス ◇未来設計・学習支援・受験対策

0. 総記

分類	タイトル	著者
019.1	本を読めなくなった人たち コスパとテキストメディアをめぐる現在形 / 中公新書ラブル	稲田豊史
019.5	中高生のための新書のすすめ / 岩波ジュニア新書	
031.8	和のなるほど図鑑	みっけ

1. 哲学・心理学・宗教

141.2	感覚史入門 なぜプラスチックを「清潔」と感じるのか / 平凡社新書	久野愛
-------	--------------------------------------	-----

2. 歴史・地理

209	旅する世界史教室 80カ国をめくった元添乗員の予備校講師が教える	山本直人
290.1	◇おもしろすぎる東大地理	宮地秀作

3. 社会科学

312.9	地政学が最強の教養である “圧倒的教養”が身につく、たった1つの学問	田村耕太郎
374.3	☆AI & ICTで職員室を変える 教務主任の仕事ス クラブ	前多昌顕

4. 自然科学・医学

410.4	マイナス×マイナスはなぜプラスになるのか / 朝日新書	鈴木貴太郎
429.6	質量はなぜ存在するのか 「質量の謎」から始まる素粒子物理学入門 / ブルバックス	橋本省二
465	空飛ぶ微生物 気候を変え、進化をみちびく驚きの生命体 / ブルバックス	牧輝弥
479.7	桜とは何か 花の文化と「日本」 / 河出新書	佐藤俊樹

☆ こども読書週間の始まりを4月23日にしたわけは…

毎年4月23日は「サン・ジョルディの日」（男性は女性に花を贈り、女性は男性に本を贈るといふ、守護神サン・ジョルディを讃えるスペイン・カタルーニャ地方の祭）。また、この日はウィリアム・シェイクスピアとミゲル・デ・セルバンテスの命日でもあることから、1995年、ユネスコ総会がスペイン政府の提案を受け、『世界 本と著作権の日』と制定しました。

よって、こども読書週間はこの『世界 本と著作権の日』から始まる3週間となったようです。



5. 工学・家政学

520	☆これからの建築入門 / 岩波ジュニア新書	松村秀一
578.4	☆バイオマスプラスチック 基礎から最前線まで知りつくす	日本有機資源協会
596	お洒落な20代パーティシエmokkaの美しすぎる 暮らしとレシピ	mokka
596.2	小雪と発酵おばあちゃん	小雪

8. 言語

810.2	☆図解で学ぶ めくるめく日本語史の世界	今野真二
-------	---------------------	------

9. 文学

902	ノーベル文学賞にもっとも近い作家たち いま読みたい38人の素顔と作品	
911.16ク	恋のすべて 短歌集	くどうれいん 染野太郎
913.6イ	鎌倉茶藝館	伊吹有喜
913.6ウ	神の蝶、舞う果て	上橋菜穂子
913.6ケ	トラジェクトリー	グロリア・グザット
913.6ヒ	天国からの宅配便 / 双葉文庫	柊サナカ
913.6ヒ	天国からの宅配便 あの人からの贈り物 / 双葉文庫	柊サナカ
913.6ヒ	天国からの宅配便 時を越える約束 / 双葉文庫	柊サナカ
913.6マ	本でした	又吉直樹 ヨシタケシンスケ
913.6ワ	激しく煌く短い命	綿矢りさ
913.68夕	旅する小説 / 講談社文庫	宮内悠介ほか
914.6イ	絵の具がかわくあいだ	いせひでこ
929.1ハ	涙の箱	ハン・ガン / 作 きむふな / 訳

←なぜ‘ふくろう’？

「図書館だより」や図書館内の掲示物に‘ふくろう’のイラストを使っています。‘ふくろう’は古代ギリシアで女神アテネの鳥として信仰されていたことから、「知恵」と「芸芸」の象徴となり、「森の賢者」といわれています。図書館という本の森で、みなさんが知恵・知識・学問・芸術に長けた人になればいいな、と思い‘ふくろう’を使っています。

※参照：『日本大百科全書』小学館 1988